



自由民主党千葉県第六選挙区支部長
前衆議院議員/元経済産業副大臣

ひろみち通信

テーマ：税と社会保障の一体改革

今こそ、国民の審判を

自民党は、責任を持って「税と社会保障の一体改革関連法案」を成立させました。民主党政権のこの3年間の「決められない政治」に終止符を打ち、「日本の再起」に向け政治をリセットさせます。

8月10日、消費税引き上げを含む税と社会保障の一体改革法が成立しました。一体改革法の成立で、少子高齢化が進むわが国において持続可能な社会保障制度を確立するとともに、世界各国が経済財政危機に直面する中で日本が財政再建と経済成長の両立による再生へ向けて大きな一歩を踏み出すこととなりました。

自民党は、次世代にツケをまわさないために消費増税を公約に掲げ、必ず解決しなければならないものとして訴え続けてきました。同時に、民主党が消費増税を行うのであれば、これは国民との約束違反であり、速やかに解散して国民に信を問うべきであると主張してきました。

もちろん一体改革法ですべてが解決するわけではありません。真に実効ある成長戦略の実施、消費増税にともなう経済的に弱い立場の方々への配慮、社会保障の全体像の策定など、これからが改革の本番です。そのためには新たに国民の信任を受けた強力な政権をつくらなければなりません。

～渡辺ひろみちプロフィール～

昭和25年8月 松戸生まれ

松戸市立北部小学校、第一中学校、千葉県立東葛飾高校、早稲田大学法学部卒業

明治大学大学院法学研究科修士課程修了

松戸市職員、会社経営

平成07年 千葉県県議会議員選挙初当選

平成08年 衆議院選挙初当選

*以降四期連続当選

平成21年 衆議院選挙にて惜敗

<主な議員歴>

・経済産業副大臣 ・衆議院総務委員長

・内閣府大臣政務官 ・自民党総括副幹事長



国民の信を問い、決められる政治へ。

野田総理が最重要法案と位置付ける一体改革でさえ、党内を一本にまとめることができず、もはや民主党政権の政権運営能力の限界は明らかです。民主党がバラバラで物事が決まらないのは税と社会保障の問題だけではありません。安全保障の問題や原発の問題においても、民主党議員は無責任に勝手な発言・パフォーマンスを繰り返し、まさに“学級崩壊”党内のガバナンスは全く機能していません。

政権交代から3年、これ以上ノウハウも経験も気概もない素人政権による「何も決められない政治」を続けるわけにはいきません。

自民党は、政権担当能力を失った野田政権に代わって、日本再生に向けた新しい政治体制を作るために全力を傾けます。一日も早い解散・総選挙により、「決められる政治、進められる政治」の実現に向け、国民の信を問うことを強く求めていきます。

自由民主党千葉県第六選挙区支部
〒270-2241 松戸市松戸新田 592

渡辺ひろみち事務所

TEL : 047-330-3111 FAX : 047-330-1008

<http://www.hiromichi21.com>